

新潟県関川村と三菱ガス化学、森林J-クレジットの売買契約締結

～ 地域の環境保全と持続可能な社会の実現を目指して ～

2026年3月16日

新潟県岩船郡関川村
三菱ガス化学株式会社

新潟県岩船郡関川村(村長:加藤 弘、以下、関川村)と三菱ガス化学株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:伊佐早 禎則、以下、三菱ガス化学)は、三菱ガス化学の100%子会社であるMGC エネルギー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:橋本 晃男、以下、MGC エネルギー)を通じ、このたび森林J-クレジットの売買に関する契約(以下、本契約)を締結いたしました。これは、地域社会と企業が連携して環境保全に取り組む重要な事例となります。



契約締結式の模様

関川村の森林資源

関川村は、間伐材や未利用材等による木質バイオマスの活用や再生可能エネルギーの導入を進め、森林の経営管理・保全、林業振興、地域防災、脱炭素化、雇用創出など多面的な森林づくりに取り組んでおります。このたび、適切な森林管理による吸収量を算出した「関川村森林クレジット」を創出します。

三菱ガス化学グループは、2050年カーボンニュートラル達成に向けて、GHG排出削減の長期目標を設定し、「省エネ活動の推進」、「再生可能エネルギーの導入」、「環境循環型メタノール構想」などの短・中・長期の時間軸での排出削減施策を進めております。MGC エネルギーは、本契約に基づく長期的な取り組みとして、「関川村森林クレジット」の継続的な購入を通じ、地域の森林保全活動への支援とカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進いたします。

また、三菱ガス化学グループは、新潟県内に複数の拠点を構え、地域との緊密な関係を築いております。今回締結された契約は、自然環境保護活動を積極的に推進する関川村の取り組みと、地域社会への貢献を重要な使命と位置付ける三菱ガス化学グループの企業理念との共鳴によるものです。

両者は今後も協力を続け、森林資源の保全と適切な活用を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。

以上

【森林J-クレジットについて】

森林J-クレジットは、日本のJ-クレジット制度の一環として、適切な森林管理による二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として国が認証する仕組みです。森林のCO₂吸収量を数値化し、取引可能な価値として認めるこの制度により、クレジット購入者にはその利用が、クレジット創出者には森林の持続的な整備などに向けた資金の調達が可能になります。

【関川村について】

関川村は新潟県の北東部に位置する、美しい山々に囲まれた自然豊かな村です。その中心には「平成の名水百選」に選ばれた清流荒川が流れており、その両岸には温泉街や風情ある街並みが広がっています。ギネス世界記録にも認定された長さ 82.8m の竹とわらで作られた大蛇が村を練り歩く「大したもん蛇まつり」や手作りの伝統工芸品「猫ちぐら」など、関川村ならではの温かく力強い文化が根付いています。

【三菱ガス化学グループについて】

当社グループは、ミッション「社会と分かち合える価値の創造」の下、産業を支える基礎化学品からユーザーニーズに直結した機能化学品まで、多彩な事業を展開しています。今後も未来へ向けた課題解決と革新事業に取り組み、地域創生に寄与しながら、環境・社会・経済価値を追求し提供していくことで、持続可能な循環型社会の構築に寄与してまいります。

お問い合わせ先



関川村役場
農林課 農村整備班 担当:内山
TEL:0254-64-1447



三菱ガス化学株式会社
総務人事部 広報グループ 担当:小泉
TEL:03-3283-5040